

平成 28 年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成 29 年 3 月 29 日

研究・研修課題名	がん登録実務初級者認定試験
研究・研修組織名（所属）	院内がん登録委員会
研究・研修責任者名（所属）	鈴宮 淳司（腫瘍センター長）
共同研究・研修者名（所属）	勝部 明美、原 佳代（医療サービス課）

目的及び方法、成果の内容

①目 的

2016 年 1 月から「がん登録等の推進に関する法律」に基づいて全国がん登録が義務化され、院内がん登録についても厚生労働大臣指針によりいっそうの標準化が推進されるようになった。「がん登録等の推進に関する法律」は患者会の意見を反映して成立した。がんに関する医学知識やデータの安全管理の技能を有するがん登録実務者に貴重ながん登録データを取り扱って欲しいという患者会の要望が取り入れられて、国立がん研究センターは認定試験をはじめた。所定の成績を収めた者は「がん登録実務初級認定者」として認定され、4 年毎に更新することになった。

がん登録に従事する実務者は認定を受けることが望ましいため、本院でがん登録業務に従事する職員は認定を受けることを目標としている。

②方 法

国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策情報センターから提供される e-learning で自己学習を行い、年に 1 回行われる認定試験を受験し、一定の成績を収めた者に国立がん研究センターより「がん登録実務初級認定者」認定証が発行される。

本院でがん登録業務に従事する職員は認定を受けるよう、順次受験するよう計画する。

【対象】

医療機関等において、がん登録に携わる実務者、あるいはこれから携わる予定の者

【認定試験日時】

平成 28 (2016) 年 9 月 2 日 (金) 13:30~17:00

【試験方法・内容】

試験：筆記試験（マークシート方式）

内容：①がん登録の基礎知識、②院内がん登録の運用、③病期分類、④登録実務法

③成 果

がん登録業務に従事する職員のうち、2 名が受験し、結果は合格であった。

なお、本認定試験の全国での受験者数は 765 名で、合格率 71.0%だった。

本院は、都道府県がん診療拠点病院の指定を受けており、「拠点病院整備指針」を満たすために標準登録様式に基づく院内がん登録を実施し、国立がん研究センターが行う全国集計に登録情報を報告しなければならない。全国集計へのデータ提出締切りは年々早くなってきているが、本認定試験に合格

した認定者が登録実務を行うことにより、滞りなく提出できた。本院の院内がん登録のデータ精度の維持向上が期待でき、拠点病院の責務を果たせた。

また、本院は島根県から受託を受け、全国（地域）がん登録の登録室として、県内のがん登録届出書と死亡小票を収集している。「がん登録等の推進に関する法律」により、地域がん登録が全国がん登録になると、法律に基づきより一層厳しいデータの安全管理が求められ、登録室の実務者にも罰則が適用される。本認定試験に合格したものが、登録室で実務を行うことにより、データの安全管理が向上し、県民からの信頼を得ることに寄与できた。

*国立研究開発法人 国立がん研究センター

がん登録実務初級者認定証

勝部 明美 受領【2016年10月1日】

原 佳代 受領【2016年10月1日】